

会 議 録

会議の名称	平成24年度第2回行田市施設検討委員会
開催日時	平成25年1月15日（月） 開会：午後1時30分　閉会：午後3時
開催場所	市役所203会議室
出席者氏名	大須賀伊司郎委員長、宮本伸子副委員長、市川一夫委員、大澤颯子委員、松岡隆委員、村田次郎委員
欠席者氏名	宮崎和雄委員
事務局	企画政策課：小林課長、江森主幹、風間主査 都市計画課：岡村課長、青山主幹、金子主査、馬場主任
会議内容	司会　小林企画政策課長 議事 (1) 現地視察（行田市総合公園プール） (2) 行田市総合公園プールの存廃について (3) その他
会議資料	第2回行田市施設検討委員会　次第 【資料】行田市総合公園プールの概要
その他必要事項	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	1 開会 2 委員長あいさつ 3 現地視察（行田市総合公園プール） 4 議事
司 会	<ul style="list-style-type: none"> ・現地視察、お疲れ様でした。 ・それでは、議事に入らせていただく。ここからは、設置要綱第6条の規定に基づき、委員長に議事の進行をお願いする。
大須賀議長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、暫時、議長を務めさせていただく。議事の円滑な進行に皆様のご協力をお願いする。 ・会議の公開・非公開についてであります。過去の会議において、特段の事情がない限り非公開とすることを御了承いただいておりますので、今回も同様に非公開とする。 ・先ほど現地視察を行ったが、各委員のご意見を伺いたい。
村田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に現地視察を行い、老朽化・震災の影響が大きいと実感できた。廃止はやむを得ない。再開するにしても修繕費が膨大であり、他の使用方法を検討すべきである。
宮本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕費・運営費等の赤字やプールの市民利用実績を考えると廃止はやむを得ない。施設の再利用として、近年の健康志向を考えると健康・スポーツ施設（水を使わない）が良いのではないか。
市川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・実際見て、老朽化がひどいことを実感した。廃止はやむを得ない。跡地利用として、前回の委員会のなかで、「道の駅」との意見があった。「のぼうの城」の影響で、観光客がたくさん訪れているので、おもしろいのではないか。
大澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・機械類を修理して使用するの厳しいため、廃止はやむを得ない。跡地利用として、「道の駅」を検討する必要があるのではないか。
松岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止はやむを得ない。プールは、これから自治体ではなく民間が運営すべきである。今ある施設を再利用しながら、人の集まる施設を考える必要がある。ひとつの例として、近隣住民からも要望がある「道の駅」を提案したい。
大須賀議長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の意見やこれまでの意見を考慮すると「行田市総合公園プール」は、廃止すべきである。ただし、跡地利用に関しては、市民の意見

<p>各委員</p> <p>大須賀議長</p> <p>事務局</p> <p>大須賀議長</p> <p>司 会</p>	<p>を取り入れ、十分に検討することが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ついては、これまでの意見を「行田市施設検討委員会」の意見としてまとめ、市長に報告してよいか。また、報告書の様式は、事務局に一任したいと思うが、各委員に伺う。 ・ 意義なし。 ・ それでは、事務局に一任するので、宜しくお願いする。 ・ 了解した。次回までに報告書を事務局で作成する。各委員には、次回委員会において「報告書」の確認をお願いします。 ・ それでは、以上をもってすべて終了とし、これをもって議長の職を解かせていただく。 ・ 次回委員会は、2月1日（金）午後4時からを予定している。 ・ 以上をもって、本日の行田市施設検討委員会を閉会とする。 <p style="text-align: center;">< 閉会 ></p>
--	--